

タイにおける東北プロモーション事業

業務仕様書（案）

（一社）東北観光推進機構

仕様書

1. 事業名

タイにおける東北プロモーション事業

2. 目的

東北観光推進機構では、タイ市場を重点市場と位置付け、2019年8月には東北一体となったトップセールスを実施した他、旅行会社・メディアの招請事業や現地旅行博覧会への出展など積極的なプロモーションを展開してきた。

本事業では、タイ・バンコク首都圏在住の高・中所得リピーター層及び未訪日層をターゲットとし、タイ・バンコクにおいて東北の自治体・企業等が一体となって東北PRする一般消費者向けイベントを開催することにより、東北の認知度向上と来訪意欲の増を図る。また、セミナー・商談会の開催により東北を訪れる旅行商品の増加を促進するとともに、現地航空会社等へ東北一体となって訪問することにより、東北への直行便の就航や相互交流の促進を促す。

3. 委託金額

金33,000,000円（上限、消費税及び地方消費税を含む）

なお、上記金額内で東北観光推進機構が指定する額で、本事業において連携する自治体（以下、「連携自治体」という。）及び東北観光推進機構とそれぞれ契約の締結もしくは負担金の受取に係る手続きを行うこと。

また、後述するブース出展者から徴収する出展料について、上記委託金額に上乗せして事業費とし、本事業に係る業務内容を提案すること。

4. 契約期間

契約日から2024年10月31日まで

5. 業務内容

（1）東北PRイベントの実施

（ア）実施概要

タイ市場の訪日リピーターやFIT層、家族旅行層等をターゲットに、東北地域の特色ある魅力を訴求する東北PRイベントをタイ・バンコク都で開催し、タイにおける東北地域の認知度向上や東北地域への訪日旅行の促進を図る。イベント会場の選定・手配や会場の装飾・施工及び運営管理、イベント内容の企画、日本・タイ双方の出展者募集・調整に加え、イベント実施に係る事前告知やイベント誘客のための広告等を実施し、事業実施効果の最大化を図る。

（イ）基本方針

以下の方針に基づき、適切に対応すること。

- ① 本イベントは東北地域との連携が不可欠であることから、事業主体のほか、東北地域の自治体、

民間事業者等と密接に連携すること。

- ② イベント名称は日本語での名称は「日本東北観光フェア」を用いることとし、これに対応するタイ語での名称をつけること。
- ③ 「東北地域の認知度向上」及び「東北地域への誘客」を意識したイベントとすること。

(ウ) イベント会場

本イベントを実施するに当たり、以下の日程、会場で開催することとし各種調整を実施すること。

① 開催予定日

2024年5月18日（土）及び5月19日（日）（会場設営日等は含まない。）

② 開催会場

バンコク都内の展示会場、イベントスペース

③ 想定規模

2日間計3万名以上の集客を目指すにあたり、これに適当な会場を提案すること。

④ 想定出展者数

25団体30小間程度（日本・タイでの合計）

また、会場規模に合わせた最大の出展者数を明記すること。

⑤ 留意事項

- ・会場の提案にあたっては、会場選定に必要となる諸条件（施設概要、使用料、会場面積・収容人数・天井高等の施設規模、インターネット環境、アクセス、レギュレーション等）を明記すること。特にレギュレーションは、火器（調理用を想定）使用の有無や高さ制限、騒音制限等、イベント内容に影響するものは、詳細に記載すること。また、会場の写真やフロア図についてもあわせて提出すること。
- ・適切にイベントが運営できる規模の会場とすること。なお、会場が屋外施設を有する場合はその併用を妨げないが、荒天であっても適切に運営できる会場とすること。

(エ) イベント内容

① イベントテーマについて

- ・東北地域の観光コンテンツを訴求し、消費者の関心を引くイベントテーマを設定すること。
- ・設定するイベントテーマは、ブース出展内容、会場装飾やイベント名称等にも反映させるよう出展者等と調整を行うこと。

② 会場レイアウトについて

- ・ブース間の回遊や会場内の混雑対応に配慮し、適切な感染症対策を実施したレイアウト設計とすること。

③ 会場装飾について

- ・東北一体となったプロモーションを図るため、「Treasureland Tohoku Japan」のロゴを各所に使用する等、東北の一体感を醸成できる装飾を行うこと。

④ イベント運営について

- ・出展者とは別に、視覚や聴覚に訴える情報発信に留まらず、東北7県の伝統文化や工芸体験等、五感や購買意欲を刺激するアトラクション・イベント等を実施すること。
- ・会場内で東北関連の旅行商品が販売されることを想定し、東北への送客につながるような内容とすること。

⑤ 特設ステージについて

- ・会場内には特設ステージを設置（大型スクリーン含む）すること。
- ・東北にゆかりのあるステージアトラクションを東北7県へ呼びかけるなどし、広く募集すること。また、応募された内容を踏まえ、ステージアトラクションの全出演者のスケジュールを調整するとともに、当日の誘導等の対応を行うこと。

※出演者の出演料・渡航費・保険料等は原則としてオファー側（出展者）の負担とすること。

- ・過去東北を訪問したことがあるタイの著名人・インフルエンサーの出演を調整し、ステージにおいて東北を紹介するトークショーなどを実施すること。また、当日の誘導等の対応を行うこと。
- ・ステージ周辺には、ステージ鑑賞スペースを設置すること。
- ・出演者の控室やそれに準ずるスペースを別途確保すること。

⑥ オープニングセレモニーについて

- ・イベント初日の十分な集客が見込める時間帯に、東北及びタイ関係者が参加するオープニングセレモニーを実施すること。その際、日本及びタイ双方のセレモニー参加者の誘導等の対応を適切に行うこと。控室は「⑤特設ステージについて」で設置したスペースを活用すること。
- ・参加者や招待メディア等を事前にリスト化すること。なお、選定においては、事業主体と協議の上決定する。

⑦ 出展者募集等について

- ・イベント出展者（日本側は東北7県をはじめとする自治体、DMO、民間事業者、旅行会社、タイ側は現地の航空会社や旅行会社等）の募集・出展要件、募集フロー、物資運搬方法等を提案し、日本及びタイにて出展者募集を行うこと。出展料は以下の通り設定すること。

(a) 連携自治体は1小間（奥行3m×横3メートル）まで出展料を無償とし、出展名表示・壁面装飾・テーブル1台・椅子2脚・ブース内インターネット環境を含むブースの造作を行うこと。壁面装飾については、基本的なデザインを提案するとともに、画像データのリサイズ等の要望に対応すること。また、ブースの追加を希望する自治体向けに、壁面装飾込みで1小間25万円を上限に追加のブース出展料を設定すること。

(b) 日タイ路線を有する航空会社及び訪東北商品の取扱いがある旅行会社について、机・椅子等の基礎備品が付いたブース設計とすること。航空会社は各1小間（奥行3m×横3メートル）、旅行会社は原則各1小間（奥行2m×横2メートル）で設定し、出展料は無料とする。

(c) その他の出展者については、1小間（奥行3m×横3メートル）あたり25万円を上限に出展料を設定し、机・椅子等の基礎備品が付いたブース設計とすること。

(d) 上記に加え、オプションを別途作成し、それぞれに示すこと。

- ・ブースの壁面装飾などを行う際には、単に知名度のある観光地を並べるのではなく、直近のタイにおける一般消費者のニーズなどを分析した上で出展者に提案し、且つ会場全体や出展エリアごとに一定の統一感が感じられるようなデザインとすること。

- ・ ブース出展者から徴収する出展料については、本事業に係る委託金額の見積に加えて計上した上で事業内容を提案すること。
- ・ イベント開催後には、日本・タイ双方の出展者向けアンケートを実施し、その結果を分析すること。
- ⑧ アンケート調査の実施・集計・分析について
 - ・ 来場者を対象としたアンケート（500部程度、言語：タイ語）を、東観推 CRM システムを活用し実施すること。
 - ・ アンケート協力者に対するギブアウェイ（500個程度）を手配すること。
 - ・ アンケートの回答・回収に必要なものを準備すること。
 - ・ アンケート結果を集約し、翻訳・分析すること。
- ⑨ 旅行商品販売実績等の報告について

出展者が東北関連の旅行商品販売を行う場合は、販売実績や送客人数を把握する仕組みを構築し、事業主体に報告すること。なお、本事業は、東北地域に特化したものであることから、東北地域を含まない情報発信、商品販売は認めない。
- ⑩ 司会・通訳について

イベントの司会・通訳は、訪日促進イベントでの実績が豊富で、原則東北の観光に関する知識を持つ人物を選定すること。

（オ）広告・宣伝について

- 以下の方針に基づき、イベントの広告宣伝・広報手法を「事前、開催中、事後（実施報告）」のフェーズに分けて提案し、事業主体と協議の上、実施すること。
- ① イベント来場者数の最大化を目的とし、ターゲット層に対して効果的な広告宣伝・広報施策を提案すること。タイ市場の特性や会場都市の地域性を踏まえた上で、最適な媒体、手法、実施時期、実施回数等を提案することとし、施策実施後はその効果や実績を分析すること。
 - ② 事前に日系及びタイ現地メディアへプレスリリース等を行い、セレモニーやイベントの露出、宣伝や告知に繋がるよう働きかけを行うこと。また、日本語及びタイ語に対応したメディア専門要員を配置し、取材申し込みの対応やイベント当日の対応を行うこと。
 - ③ イベント会場において、サイネージの利用やロールアップバナー等を使用した広告宣伝を行うとともに、イベント開催中はゆるキャラによる館内グリーティングや館内でのチラシ配布を通じた会場への誘客を図ること。
 - ④ タイ現地の日本に関連する施設などと連携し、イベントの事前告知が可能な場合は、広告宣伝の提案に含めること。
 - ⑤ 各県等が運営する SNS と連携した取組みを実施し、イベントの PR や開催中・開催後のフォロー獲得に繋げること。

（カ）その他

- ① イベント開催地でボランティアを活用する等、より効率的かつ効果的な運営に努めること。
- ② 出展者の募集及びとりまとめ、各種調整、資料輸送に関するとりまとめ、また共通装飾に関する

調整等、日本・タイの出展事務局としての窓口機能を担うこと。また、過去に出展経験の無い出展希望者については、事業主体及び連携主体に報告の上、必要に応じて信用等調査を行い、業務内容・実態を把握すること。

- ③ 東北地域の出展者が実施予定の誘客促進施策に対して、出展者及びその実施内容の決定後、可能なサポートを実施すること。
- ④ 日本側出展者がイベント内で物販を行うことができるよう、現地販売の調整を適切に行うこと。ただし、日本からの販売のための商品輸出等に関する手配の費用については出展者の負担とする。
- ⑤ イベントで現地スタッフ等を雇用する場合は、東北観光に係る知識を有する者や日本語にて意思疎通可能な者を優先して雇用すること。
- ⑥ ブース運営マニュアルを作成の上、出展者を含む関係者に配布すること。
- ⑦ イベント会場に出展者用のインターネット環境を独自に整えること。
- ⑧ 実施主体や各自治体が提供する観光PR資料等の確保及び輸送（日本からタイ。20kg 以内×20箱程度）を行うこと。
- ⑨ イベント当日における管理・運営のため、日本もしくはタイから必要な人員を確保すること。また、派遣に要する費用（交通費、宿泊費等）も見積もりに計上すること。
- ⑩ 事業実施に資する独自の提案などがある場合、あわせて提案すること。

（２）BtoB セミナー・商談会・交流会の開催

タイから東北を訪れる旅行商品の増加や相互交流の促進を目的に、タイ現地旅行会社等をターゲットにしたBtoB セミナー・商談会・交流会を開催する。本事業を実施するにあたり、以下の日程で会場を手配など運営に係る各種調整を実施すること。

（ア）日時・会場

① 開催予定日

2024 年 5 月 17 日（金）午後

② 開催会場

バンコク都内のホテル内会場・会議室・レンタルスペース

（イ）東北観光セミナー

- ① 会場においてタイ現地の旅行会社やメディアに向けて東北の観光情報等を紹介する観光セミナーを 60 分程度実施すること。
- ② 航空会社、旅行会社、メディア関係者等タイ側参加者の募集に関する事項（参加者のリストアップ、案内状作成・送付、礼状の送付等）を実施すること。参加者数は 60 名程度を想定すること。
- ③ 会場の手配、設営、管理、装飾について
 - ・会場は市内の中心部などアクセスの良い会場とし、選定理由を明確にして提案の上手配すること。
 - ・集客に適した時間帯や会場設営の準備時間を設定すること。
 - ・会場内の装飾を行うこと。また、看板等には「Treasureland TOHOKU JAPAN」のロゴを掲示す

ること。

- ・会場は聞いた内容をメモが出来るテーブル付きの座席を準備すること。
- ・プレゼン用のパソコン、プロジェクター、スクリーン、マイク、アンプ、スピーカー等の必要な機器を用意すること。

④ セミナーについて

- ・セミナーで使用するパワーポイント資料を作成し、連携先と調整の上決定すること。この際、観光素材や、近年新しくオープンした観光施設や宿泊施設といったコンテンツ、アクセス情報等を含めた、旅行商品造成や誘客の促進に資する内容を提案すること。
- ・セミナー概要のプログラム（タイ語）を作成し、来場者に配布すること。
- ・セミナーに係る資料は各会場の参加者に配布するにあたり必要十分な量を印刷すること。
- ・セミナーの休憩時間等用にソフトドリンク及び地域固有のお菓子等の軽食を手配すること。

⑤ 運営要員の手配について

- ・司会兼通訳を1名配置すること。司会兼通訳は過去に観光セミナー等でプレゼンテーションを実施した実績があり、東北の情報発信に効果的な役割を果たすことができる者を選定すること。
- ・受付2名及び通訳2名を配置すること。受付は、来客の受付・案内に加え、事務局側関係者のサポートができる人材を手配すること。
- ・運営管理者を1名配置し、進捗状況の把握と円滑な会場運営を行うこと。

⑥ 事業の連携について

- ・直後に開催を予定している「日本東北観光フェア」と連携し、イベントに参画する旅行会社の商品販売のフォローや、イベント開催の周知など相乗効果を創出する取組みを行うこと。

⑦ 参加者へのフォローアップ

- ・事業実施後、セミナー当日に参加者から挙げた質問等について、必要に応じ後日速やかに質問及び回答を集約し参加者へのフィードバックの実施や、追加の情報提供等を行うなど、丁寧なフォローアップを行うこと。

⑧ その他

- ・事業実施に資する独自の提案などがある場合、あわせて提案すること。

(ウ) 商談会

- ① (ア) の会場において、日本側参加者と現地旅行会社の商談会を3時間程度実施すること。
- ② 商談会は、セミナー会場内に椅子とテーブルを設け、各テーブルに参加者が着席し、現地旅行会社等のうち希望者がテーブルに着いて商談を行う形式とする。
- ③ 東北側参加者の募集を行い、参加者の取りまとめを行うこと。(1) 東北PRイベント出展団体は3万円を上限に、その他の者に対しては5万円を上限に参加料を募ること。ただし、連携自治体については参加費を無料とする。徴収する参加料については、本事業に係る委託金額の見積に加えて計上した上で事業内容を提案すること。
- ④ 通訳については日本側参加者が各自手配を行う。ただし、出展募集を行う際に希望を聴取し、希望があった場合には有料で手配を行うこと。

(エ) 交流会

- ① タイ現地旅行社等関係者と東北からタイを訪問する関係者の関係構築と今後の相互交流の促進を目的に、交流会を開催すること。
- ② 日本側参加者 40 名程度・タイ側参加者 60 名程度の参加を目安に、招待などの手配を行うこと。
- ③ 日本側参加者の参加費は有料で設定し、徴収すること。ただし、連携自治体は 1 名まで参加を無料とすること。
- ④ タイ側参加者の参加費は、(イ) もしくは (ウ) の参加を条件に無料とすること。
- ⑤ 参加者のとりまとめや交流会時の座席表の作成等、交流会の実施に向けた各種調整を行うこと。
- ⑥ 実施の形態として、参加人数を考慮し着席か立食形式か委託者と調整の上決定すること。
- ⑦ 交流会の実施をするにあたり、VIP 用のテーブル (4 テーブル程度) へ 2 名の通訳を、その他のテーブルへ 1 名の通訳を配置すること。
- ⑧ 交流会の開催にあたり、参加者に提供する飲食の手配を行うこと。

(3) 現地航空会社等訪問

タイから東北への定期便就航を目指し、東北の関係者が一体となって現地航空会社等の関係機関を訪問する。本事業を実施するにあたり、以下の日程で実施するにあたっての各種調整を実施すること。

(ア) 日時

2024 年 5 月 17 日 (金) 午前

(イ) 訪問先

現地航空会社、関係機関計 2 箇所程度

(ウ) 日本側参加者

東観推及び自治体のトップクラスを含む計 20 名程度

(エ) 手配内容

- ① 日本側参加者が乗車するにあたり適当な車両を手配すること。当日の集合から解散まで全て同じ車両を用いることとする。
- ② ホテル等の集合場所から、本訪問事業を実施した後、昼食会場を経て (2) BtoB セミナー・商談会・交流会の会場まで移動する一連の動きについて手配を行うこと。
- ③ 訪問先への訪問時間や順番、ルート等について委託者へ提案を行うこと。また、訪問にあたってのアポイントを調整すること。なお、訪問先は委託者が選定する。
- ④ 当日、不測の事態等により訪問時間に遅れる場合等には、適宜訪問先へ連絡を取るなどし、スムーズな実施に努めること。
- ⑤ 通訳 1 名・ガイド 1 名を手配すること。通訳は、自治体のトップクラスが現地関係機関を訪問

した際の通訳経験がある者を提案すること。

- ⑥ 当日の昼食会場を手配すること。費用は参加者の負担とし、当日は集金など係る手続きを行うこと。

6. 事業報告書に関する事

2024 年 10 月 31 日までに事業報告書を提出すること。

7. 事業効果の把握等に関する事

- (1) 本事業が誘客促進等につながったことを把握できる成果指標の設定、測定（調査）方法を提案及び実施すること。

8. その他

- (1) 受託者は、委託者と締結した「業務委託契約書」の各条項を遵守し業務を遂行すること。
- (2) 受託者は、業務に要する機材および消耗品について準備すること。
- (3) 受託者は、業務の各段階において業務の遂行について随時報告を行い委託者の了解を得ること。
- (4) 受託者が業務を遂行する上で必要な資料等は、受託者において入手すること。
- (5) 委託者が委託金額を加算するなど、本契約の変更を必要と判断した際には、受託者と協議を行った上で、本契約の内容を変更することができる。

以上